



第十五回

能

狂言

石橋 しやつぎょう

二人袴 ふたりばかま

久比岐

久比



観世 喜正



野村 萬齋

令和元年
10月8日(火)

会場 / 上越文化会館大ホール 開場 / 午後5時00分 開演 / 午後6時00分

□主催 / 久比岐能実行委員会
□後援 / 上越市、上越市教育委員会、上越商工会議所、三井企画(株)、NHK新潟放送局、上越ケーブルビジョン(株)、(株)上越タイムス社、新潟日報社、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、高田観世九阜会、高田観正会、高田喜謡会、卓声会、直江津浪鼓会、新井高謡会
□お問合せ / 三井企画(株)内「久比岐能実行委員会」事務局 上越市本町5-4-5 あすとびあ高田2F TEL.025-524-1531 ※この企画の第一部は上越市内中学生を対象とした校外学習としておこなわれます。

チケット
取扱い窓口

チケット / 指定席 : SS席 6,000円 S席 5,000円 自由席 3,000円
上越商工会議所・上越文化会館・三井企画・上越ケーブルビジョン・上越タイムス社・公益社団法人上越観光コンベンション協会
きもの小川・BIG SOUND・キャップ広告制作事務所・パーツプロダクション・ホテルハイマート・eぶんぐクリック・お馬出し大杉屋

インターネットでもチケットの購入(予約)ができます

くびきのう

検索



能比岐能

期日／令和元年十月八日(火)
 場所／上越文化会館大ホール
 開場／午後五時 開演／午後六時

番組

主催者挨拶

解説 観世喜正

仕舞 天鼓

地謡

高橋康子
 観世喜正
 中森貫太
 中森健之介
 河井美紀

狂言二人袴

シテ(親)
 アド(舅)

野村萬齋
 高野和憲
 飯田豪
 野村太郎
 石田淡朗
 後見

仕舞 白楽天

羽衣

地謡

永島忠修
 観世喜之
 遠藤和久
 遠藤喜久
 長山耕三
 中森健之介

能石橋 大獅子

シテ(木こり)白獅子

観世喜正
 永島 充
 野口能弘
 中村修一
 竹市 学
 幸 信吾
 原岡一之
 金春國直
 太鼓 後見
 遠藤喜久
 中森健之介
 長山禮二郎
 中森貫太
 遠藤和久
 長山耕三
 長山桂三
 高橋康子

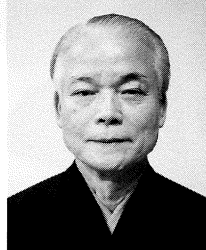
地謡



観世喜之



観世喜正



永島忠修



野村 萬齋

狂言「二人袴」(ふたりばかま)

今日は贅入り(結婚後、妻の実家に初めて挨拶に行く事)の日。舅の家では準備を整え心待ちにしている。一方の贅は、一人で行くのは心細いと父親に舅の家の門前まで付き添われてやってくる。贅に礼装の長袴をはかせてやると、父は表で待つことにするが、太郎冠者に見つけられ、父親も舅に挨拶することに。さて、この親子はどうやってこの場を切り抜けるのか？

明るいめでたさのある贅狂言の代表曲です。天真爛漫な贅とそれに慌てる父親の、舞台上から漂う何ともほのぼのとした雰囲気をお楽しみ下さい。



能「石橋」(しやつきょう)

参議大江齊光の子、大江定基は出家して寂昭法師(ワキ)と号し、唐土へ渡った。色々と拝み巡った後に清涼山(現・山西省東北部、五臺山)へ到り、かの有名な石橋を渡るうとするが木こり(前シテ)にとめられる。木こりは石橋を渡る事の難しさを示し、さらに橋のいわれを語った後、暫く待てば奇特が見られると言いついて立ち去る。(中人)寂昭が橋の傍らで待っていると、あたりには確かに牡丹の匂いで満たされ、やがて紅白の獅子(後シテ・ツレ)が現れる。獅子達は雄壮にして華麗な獅子舞を舞い、千秋万歳とあたりを祝して舞い納めるのであった。

上越文化会館

〒943-0804 新潟県上越市新光明1丁目9番10号
 TEL.025-525-4103 URL <http://www.joetsu-bunkakaikan.com/>

■最寄り駅より

- えちごトキめき鉄道直江津駅北口よりタクシーで約10分
- 「直江津駅前通」バス停①番か②番から乗車→「市役所前」下車
- えちごトキめき鉄道高田駅よりタクシーで約15分
- えちごトキめき鉄道高田駅から徒歩5分
- 「本町6丁目」バス停①番から乗車→「市役所前」下車
- えちごトキめき鉄道春日山駅より徒歩約2分

■車

- 北陸新幹線「上越妙高」駅から車で約15分
- 北陸自動車道上越ICより約15分
- 上信越自動車道上越高田ICより約15分

■バス

- 「直江津駅前通」バス停より、①番か②番乗車
- えちごトキめき鉄道高田駅から徒歩5分
- 「本町6丁目」バス停より、①番乗車
- 「市役所前」下車

